

5. 計画の基本的な考え方

1) 基本理念

本計画のテーマを次のとおりとします。

【テーマ】 みんなで支え合い、よろこびが生まれる都市・佐倉

このテーマは、「市民と市民、市民と行政が支え合うことを基本に、市民一人ひとりの生活から都市づくりに至る、佐倉市の総合的な高齢者保健・福祉・介護対策を推進する。」という基本理念を表すものです。

2) 計画の基本方針（施策の体系）

基本理念を踏まえ、本計画の基本方針(施策の体系)は以下のとおりとします。

みんなで支え合い、よろこびが生まれる都市・佐倉

●あたたかい心がふれあう地域づくり

・・・福祉意識の高揚、保健・福祉のネットワーク、市民活動
市民全員自らが主体となって理想的な高齢社会を築けるよう福祉意識の高揚を図るとともに、市民・行政・関係機関・民間企業等の一体的な取り組み体制の確立、市民活動の支援を図ります。

●安全で快適なまちづくり

・・・都市整備、公共公益施設整備、住宅対策等
高齢者が安全・快適に過ごせ、安心して活動できる佐倉市を目指して、高齢者対応型の都市づくりや施設づくり等を進めます。また、高齢者にとって、生活しやすい住宅づくりをめざします。

●楽しく生きがいのあるくらしづくり

・・・生きがい（生涯学習活動、ボランティア活動、地域活動等）、仕事、生活等
市民の誰もが、充実したライフスタイルを実現できるように、高齢者による様々な活動の支援、高齢者の就労対策、生涯学習の推進等に努めます。

●元気いっぱい いきいき健康づくり

・・・健康づくり、保健活動や介護予防の推進
「健康さくら21」に基づき、生活習慣病の一次予防、市民と一体となった健康づくりに取り組み、総合的な健康増進や疾病予防対策を推進するとともに、高齢者の介護予防にも重点を置いた各種施策を推進します。

●安心な老後を支える仕組みづくり

・・・介護保険事業、保健福祉サービス事業
介護が必要になっても安心して暮らせるようにするため、介護保険事業の推進を図るとともに、高齢者のための保健福祉の在宅サービスを充実させます。